



平成30年3月15日

安全就業29-12号

公益社団法人 東部広域シルバー人材センター

## 季節のたより

今年は3月18日が彼岸の入り、そして3月21日が彼岸の中日、二十四節気と言うところの春分となります。彼岸明けは3月24日です。

春分の七十二候は、初候「雀が巣を作り始める」、次候「桜の花が咲き始める」、末候「雷が鳴り始める」と進みます。

地中の小さな虫や木々の生命も目覚めるときです。春が立つ「立春」から一ヶ月経ち、日本列島に春がそう遠くないとこまで来ました。

まだまだ寒い時期ではありますが、一雨ごとに気温が上がり、日差しも徐々に暖かくなってきます。

会員のみなさんも、これから本格的に外作業するシーズンを向かえますので、少しずつ体を慣らし、仕事に備えて下さい。

### 県連合会による 安全・適正就業研修会が開催される

去る2月21日、山梨県立青少年センターにおいて、安全就業推進員・安全委員の研修会が開催され当センターから5名が参加しました。

研修会に先立ち平成29・30年度【安全標語】入選者5名の表彰が行われました。最優秀賞の

### つまみ 摘みとろう ヒヤリ、ハットの小さな芽

の「安全標語」は、連合会の普及啓発活動等に平成29・30年度の2年間活用されます。

表彰式に引き続き体育館に移動し、安全研修会が開かれました。

研修会は、高齢者の体力づくりと題し、山梨県体育協会の指導員から、日常で使える様々なウォーキングのやり方、簡単なミニゲーム等の

指導を受け、参加された会員さんたちは1時間半ほどではありましたが、楽しみながら汗を流しました。

### 平成28年度賠償責任事故について

28年度の全国のシルバー人材センターで就業中の損害賠償責任事故(1件あたり20万円以上の事故)の件数は、411件という結果で、仕事の内容は除草作業が271件ありました。

仕事の内容は、除草作業で「飛散させたもので損壊」が230件と大部分(84.9%)を占めています。次いで、刈払機の刃が室外機に接触し破損させるなど「器具・用具を接触させて損壊」が27件との内容となっています。

次に「植木・造園工事」が49件、「運搬、清掃梱包等の作業」が20件となっています。

この結果から、事故件数の最も多い除草作業に際しては、飛散防止ネットを必ず使用し、事故を未然に防いでいただくようお願いいたします。

仮に事故が発生しますと損害賠償保険では免責分は自己負担して頂くこととなりますので、作業には十分注意していただきますようお願いいたします。

併せて、使用する器具・道具類の事前の確認と点検も怠らないよう日頃から習慣づけましょう。

### ☆ 会員募集 ☆

シルバー人材センターでは、健康で働く意欲のある会員を募集しております。

尚、当センターでは、会員の取り扱いについて、新規会員は、仮会員として登録し、就労した際に会費を徴収することとしておりますので、お知り合いの就労意欲のある方に登録される様、誘って頂ければと思います。

「事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな」

(29年度から31年度まで安全就業全国統一スローガン)